

# Visual Basic Expressを使い切る

デザインエディタ編

初音 玲 HATSUNE, Akira

## Level

1 2 3 4 5

## Technology Tools

- Visual Basic
- Visual C#
- Visual C++
- SQL Server
- Oracle
- Access
- Excel
- ASP.NET
- Other:

↓  
Visual Studio 2005 Professional  
Visual Basic 2005 Express

## はじめに

2005年12月15日にVisual Studio 2005の発売が開始されると同時に、マイクロソフトのWebサイトからMSDNサブスクリプションとしてダウンロードが可能になった。

Visual Studio 2005には、さまざまなエディション(表1)があるため、どのエディションを選択するべきか、まだ迷っている人もいるのではないだろうか。特に“Team Edition”は利用目的によって3つにわかれているため、どれ

が自分の利用目的に合っているのかという判断材料が乏しいきらいもある。判断しきれずに、すべてが含まれている「Team Suite」を選択しようと考えても、「Visual Studio 2005 Team Suite with MSDN Premium Subscription」は新規パッケージで150万円(推定小売価格)もするため、正直「買いたいけれど買えない」ということになる。

多少ではあるが、救いがあるとする、これまで「Visual Studio .NET 2003 Enterprise Architect」を購入していたプロジェクトや個人開発者で(「MSDN Universal」の期間が切れていなければ)、有効期限の更新としてパッケージ

表1: エディション別公式発表

エディション	マイクロソフト社が推奨する利用目的
Team	チーム開発において、メンバーそれぞれの役割を強力に支援するとともに、チームの連携/コラボレーションを強化。ソフトウェア開発ライフサイクルをサポートする拡張可能な統合開発支援スイート
Professional	Windowsアプリケーション、Webアプリケーションはもちろん、SQL Serverやデバイス、64bitに対応したアプリケーションを効率的、高品質で作成可能なプロフェッショナル向け統合開発環境
Standard	個人のプログラマ向けに幅広いアプリケーションのプログラミングを支援。幅広いプログラミングをワンパッケージで提供
Express	学習/評価/ホビーに最適なソフトウェア作成ツール。実用的なサンプルであるスタートキットの利用により、ソフトウェア作成を手軽に、楽しく始められる

更新版を48万円で購入できるという点か。

とはいえ48万円という価格にしても、MSDN Universalの更新と比べると実質1.7倍近い値上げという感覚はぬぐいきれず、「もう、フルセットではなく必要な最小構成のものにしよう」と考えるところもあるだろう。

そこで、表1にあるような公式発表ではなく、実際にVisual Studio 2005で開発を行なう開発者の視点から、自分にとって選択すべきエディションは、どれなのかを考えてみることにしよう。

もちろん、すべてのエディションを比較検討するには誌面の都合もあるし、網羅的な情報もいろいろ入手できると思うので、本稿では、「Professional Edition」と「Express Edition」に絞って比較検討することにする。

とはいっても、比較検討に入る前に、数あるエディションの中から、なぜ、この2製品を選択するのか、その理由を説明する必要があるだろう。

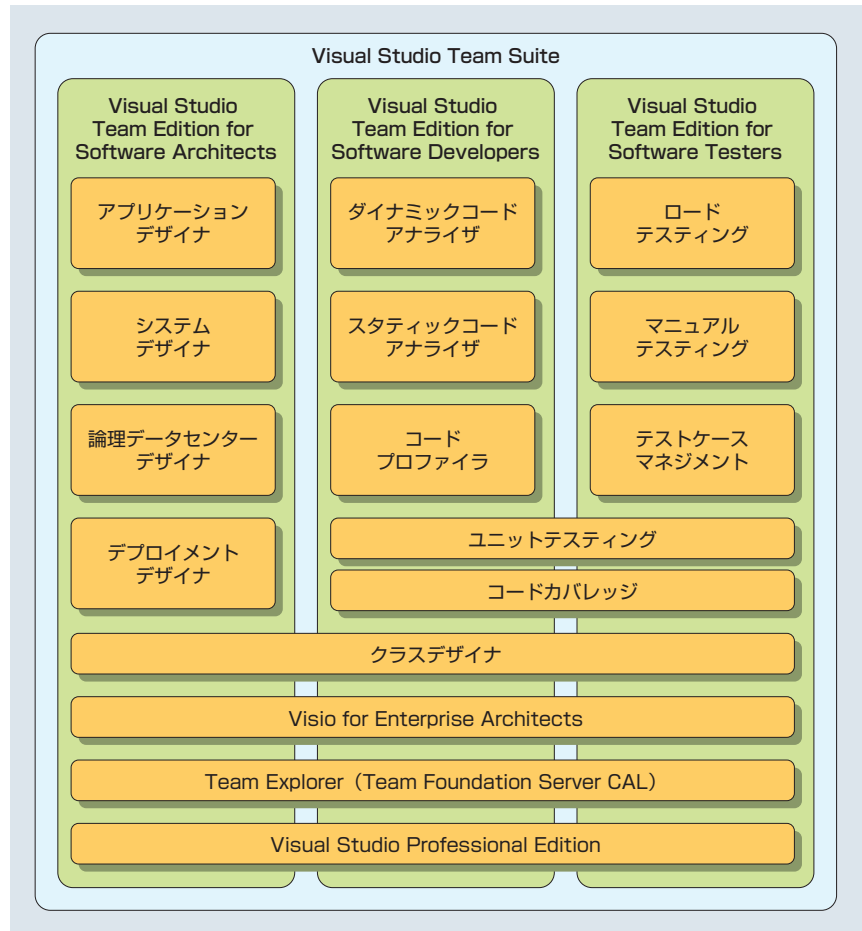
## ProfessionalとExpress

Visual Studio 2005の各エディションを比較検討していくと、今まで、Visual BasicやVisual Basic .NETで普通にシステム開発を行ってきた環境からの乗り換えは「Visual Basic 2005 Professional Edition」であると考えようになった。

### Professionalを選択する理由

「Team Suite」や「Team Edition」は、簡単に言うと「Professional Edition」

図1：Team Suiteに含まれるもの



に各種開発補助ツールを添付した製品だ (図1)。となると、これまでVisual Studio以外に、サードベンダーから発売されているいろいろな開発補助ツールを追加購入して効率的に開発を行っていた場合は、追加購入した各種開発補助ツールと同等のものが含まれているため、使い勝手や費用面でTeam SuiteやTeam Editionは魅力的な製品群といえる。

しかし、大多数のVisual Basic開発者は、Team SuiteやTeam Editionに興味はあっても、その価格に魅力を感じることはないだろう。なぜなら、ソースコードからドキュメントを生成するようなツールは例外としても、開発補

助ツールを追加購入せずにVisual Studio本体のみで開発を行ってきた場合が多いうえ、開発補助ツールを導入しているとすれば、これまでのツールを使いたいと考えている場合が多いからだ。

また、MSDN Subscription付のパッケージでは、Professional Editionが最小パッケージに相当する点も見逃せない。

### 実はTeam Editionも……

「Professional Edition」をベストチョイスと書きながら、すぐに「Team Edition」を推奨するのも変な話ではあるが、プロジェクト予算などに多少でも余裕があるのならば、Team Edition